

厚生経済常任委員会審査報告

(1 ページ)

那覇市議会 厚生経済委員会です。

これより本市における新型コロナウイルス感染症対策とそれに伴う経済対策についてご報告いたします。

(2 ページ)

新型コロナウイルスは自分だけで増えることはできず、
粘膜から身体に入り込み、細胞内に取り込まれて増えていきます。

新型コロナウイルス感染は11月08日現在、世界で5千10万人が感染し、
125万人の方が命を落としています。

(3 ページ)

沖縄県では3518人が感染し、3169人が回復し、65人の方が命を落としています。

那覇市保健所は感染者の治療における優先度を決めたり、濃厚接触者の特定、PCR検査の必要性の確認等を行い、感染拡大防止に係る業務を実施しています。

感染経路の調査（積極的疫学調査）は、保健師を増員し、保健師6人及び事務職1人でグループを編成し、現在は4グループで、感染経路の特定を行っています。

9月定例会では、本市 松山地区を対象としたPCR検査についてや、PCR・抗原検査の実施状況と費用、病院、診療所、保健所での課題などについて、多くの議員から新型コロナウイルス感染症への対応に対する質問がありました。

(4 ページ)

那覇市では、感染拡大防止の対応だけでなく、
落ち込んだ観光産業の経済対策として、市内宿泊事業者、飲食事業者 及び 土産品店等を支援するため、3億2千万円の予算で、那覇とまーるクーポン事業

を実施しました。

議会での議論を踏まえて、宿泊料金が5000円以下の施設でも適用されるなど、利用条件が拡充され、好評のうちに4万枚のクーポンが市民、県民の皆さんに活用されました。

(5 ページ)

令和2年度那覇市一般会計補正予算は

感染症予防事業費、5,806万円の増額補正の提案がありました。

新型コロナウイルス感染症の対応として、PCR採取センター運営委託料、患者等の移送や消毒に従事した職員に対する特殊勤務手当、感染症患者の入院治療費の増額分などを議会として承認しました。

更に、感染症予防事業費を、第8号補正予算で、2,894万円の増額補正が提案され、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れをしている、協力医療機関へマスク、ガウンの配布に要する費用、検体搬送に要する費用、予算が増額となっています。

(6 ページ)

感染拡大を抑えるには、正しい手洗いとマスクの着用、部屋を換気し、三密を避けることです。

また、これから冬にかけて、コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されるなか、

那覇市では、10月から65歳以上の高齢者、11月からは小学2年生までの児童、また妊婦へのインフルエンザ予防接種費用が無料となっています。

以上、厚生経済常任委員会の報告を終わります。

市民の皆さんにおかれましては、感染予防、健康にご留意され お過ごしください。